

いただきますの森 日記 VOL. 12

令和5年7月22日 定例作業 採蜜の報告をします。

7/22（土）いただきますの森 定例作業と採蜜について報告をします。

暑さが続いているため、8時半～スタートし、当日は曇りのち晴れの天気でした。

参加された方の人数は約大人 12 人、子ども 8 人で前日に刈った草を花壇へ移動する作業や刈残した草刈作業、果樹

周りの手入れ、プチトマト、三尺ささげ、じゃがいも、ブルーベリーの収穫、大豆の土寄せ作業等を行いました。

作業後、養蜂家の方にご参加頂き、ミツバチ見守り隊でいただきますの森で初めての採蜜作業を行いました。

はじめに運営より前日に環境政策課の担当者の方々がいただきますの森の草刈りをして下さり、草が所々に積んで

あることやウッドチップを敷いて通路を造る予定や本日の活動の内容についての説明がありました。

いただきますの森は花壇のひまわりが元気よく咲きその周りにミツバチの姿が見られたり、マリーゴールドや

ホーリーバジルもイキイキと咲いています。

前日に草刈りを行って下さったためとても作業もしやすく、スッキリとした いただきますの森にはほうきもろこしが

穂をつけ始め、ブルーベリーが紫色に色づき、果樹の実も大きく成長しています。

大豆も土寄せ作業の効果もあり、暑さに負けずにすくすくと成長をしています。

大豆の土寄せは大豆周りの草刈り効果と土を盛った所から新たな根が張りしっかりと大豆が成長するそうです。

大豆は北東の一番端から 8 株は 2 回目の土寄せ作業をしない場所を設けて、成長の違いを観察していきます。

いただきますの森では大きなバッタや芋虫、チョウチョやミツバチの姿も見られました。



今回はプチトマト、ブルーベリー、じゃがいも等の収穫物を子どもたち中心に作業をして貰いました。

お互いに協力しながら作業をしていました。また掘ったじゃがいもの泥を洗い流す作業も進んで行ってくれました。

また久しぶりにご参加下さる方もいらっしや、とてもスムーズに作業が行えました。

ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。

畑を耕していると幼虫や様々な虫も見かけ、生き物のありがたさを実感します。

作業が落ち着いたところで休憩をし、いただきますの森産のホーリーバジルのお茶をみんなで堪能しました。



いただきますの森 初めての採蜜にはミツバチ見守り隊が中心になり、八王子から来て下さった養蜂家の方も

見守る中作業を行いました。採蜜に関しては、面布を着用し、肌を露出しないように注意を払って行いました。

久しぶりに訪れたミツバチの巣では、蜂たちが入口に溢れていました。

慎重に巣箱の蓋を開け、中を確認すると巣とひしめき合う蜂が確認でき、蜂を驚かさなないように、また刺激しないように少しずつ慎重に作業を行いました。

無事に採蜜作業を行い、初めてのはちみつをみんなで試食し、堪能しました。

遠方から一緒に見守って下さった養蜂家の方に感謝致します。ありがとうございました。

いただきますの森で採れた初めてのはちみつは、レンゲの味とスッキリとした甘さが口の中に広がり、後味のよいはちみつでした。

またこの収穫したはちみつを堪能できるピクニックをしたいと声がありました。

みんなで楽しめる会が出来ればなと思っています。

(文責：いただきますの森 プロジェクト 前川)